

仙谷氏 衰えぬ権力志向

重要ポスト掌握、官邸に警戒感

民主党の仙谷由人政調会長代行(65)が、政界のキングメーカーになろうと着々と布石を打っている。1日からは民主、自民、公明3党の若手議員を率いて訪韓。党内ではポスト野田二期待する前原誠司政調会長の裏方に徹し、重要政策を握るポストに次々と就いた。仙谷氏の衰えぬ権力志向に、官邸サイドもひそかに警戒感を強めている。(村上智博)

1日朝の羽田空港国際線ターミナル。そこには、若手議員らの飛行機に向かう仙谷氏の姿があった。

一行は、日韓協力委員会の有力者として団長に選ばれた。協力委の主要メンバーの「日韓次世代指導者交流事業」に参加するため訪韓。3 挙したという。



自公両党の若手議員とともに韓国に旅立つ民主党の仙谷由人政調会長代行(中央)。党内外で存在感を増している=1日午前、羽田空港(栗橋隆悦撮影)

「最終3日間で2千票作れば勝てる」と戦ってきた。田舎では一家の票をいただけた。5票になり、10家族の票を束ねる人が40人支援してくれた。捨てる神あれば拾う神あり。1票を失っても、どこかで1票取ってくればいい」

菅直人政権で「陰の首相」と言われた存在感には表面向き薄れたが、「権力志向は昔から人一倍強い」(旧友)という仙谷氏。周辺には「これから時代だ」と語り、早くも「ポスト野田」選びに意欲を示す。ある官邸関係者は「野田佳彦首相は、菅氏のように寝首をかかれるのではと恐れもあるようだ」と警戒している。

一方、官房長官時代に物議を醸した「毒舌」も衰えていない。前原グループの勉強会では、TTP問題に関し、「自分たちの信念が宗教的関心か知らないが、合意形成させないことは自己目的化することがあっては政治の形を成していない」と指摘。当然ながら、党内の慎重派を激高させた。

10月29日に長野県軽井沢町で行われた前原グループの会合では「選挙の小沢」の向こうを張るかのように、若手議員を指南した。

集団的自衛権で持論 首相「行使できん」

野田佳彦首相は1日、衆参両院で行われた各党代表質問に対し、集団的自衛権の行使について「政府としては憲法上、許さないと解しており、首相として現時点で解釈を変えることはできない」と答弁した。

日本固有の領土である竹島に、道が管理事務所を建設を計画して日、分かった。韓国政府の文化財に建設を承認。慶尚北道は2011年方針だ。金寛容知事は「領有権に必要だ」としており、日韓両国だねになるのは確実だ。

管理事務所は、台風などが発生客を避難させることを名目に埠頭に建設する計画。延べ床面積は3階建て。総事業費は10億円を見込んでいた。事業主体は韓国政府の行政区分、竹島を北道というところもあり、外務省はだ。だが、文化財庁の承認は韓国政府に韓国訪問を終えてから、野田首相は島内に警備隊を常駐させることも建設してきた。今回の計画も一層強める意図があるのは明らか。何のための首脳外交だった韓国側に中止するよう抗議すべきだ。この批判が出ている。

韓国 竹島に観光客避難施設計画